落穂拾ひ

東京日記　正岡一宮男

資料難から手製の国語への副教科書を作ることになり、国語の先生が中心となって編輯係のわたくしが、その四月の初めから毎日のように学校へ通うことになりました。

四月某日　木曜日

私の学校は、戦争中は軍需工場に指定されていたので、学徒動員で、四月の初めまで授業はありませんでした。

四月某日　土曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

私の学校は、戦争中は軍需工場に指定されていたので、学徒動員で、四月の初めまで授業はありませんでした。

四月某日　日曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　月曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　火曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　水曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　木曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　金曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました。

四月某日　土曜日

今日は、二年(男子部)担任の先生方の歓迎会がありました

生徒と完全に遊離

多い「不熟心な委員」

生徒会が発足して四年の今日、その不満点はさも大きな問題とされている。そこで新聞部ではこれらの問題を打開する方向を出そうとするために、さまざまの立場から集っていただき座談会を開いた。

出席者
【高知南高校】竹内良夫
【高知追手前高校】中山信一
【高知丸ノ内高校】松浦昭二
【高知小津高校】伊賀典彦
【高知海南高校】山崎和孝
【高知農業高校】前田一美
【高知女子高校】井丸美代子
【高知商業高校】酒井丸一
【高知工業高校】中山一彦

【司会】本校の四年生の方が知識が豊富であるし、また生徒会の役員としても一番多くやっておられますから、まず南高校の竹内さんから話題について述べて頂きたいと思います。

【竹内】ありがちがちな会議ばかりでなく、もっと自由な雰囲気の中で、楽しい会議にしたいと思います。

【司会】今までの生徒会の活動の中で、一番印象に残っていることはありませんか。

【竹内】コーナーボールの会合を開いたことです。

【司会】それはどういう会合ですか。

【竹内】各校の代表者が集まって、生徒会の運営について話し合ったのです。

【司会】それは高知県下の高校生が集まったのですか。

【竹内】いいえ、高知市内の高校生だけです。

【司会】それは何回ぐらい開かれましたか。

【竹内】一回だけです。

【司会】一回だけでは余り印象に残らないでしょう。

【竹内】そうですね。

【司会】それでは追手前高校の中山さんはどうですか。

【中山】生徒会の役員になって、生徒の意見をまとめるのに苦労しました。

【司会】どんな点に苦労されましたか。

【中山】ホームルームの問題点を生徒会に持ち出すのですが、ホームルームの問題点が生徒会の問題点とは限らないのです。

【司会】ホームルームの問題点を生徒会に持ち出すのは、どんな場合ですか。

【中山】ホームルームで問題になったことを生徒会に持ち出すのです。

【司会】ホームルームの問題点が生徒会の問題点とは限らないとおっしゃいましたが、ホームルームの問題点が生徒会の問題点にならないのはどんな場合ですか。

【中山】ホームルームの問題点が生徒会の問題点にならないのは、ホームルームの問題点が生徒会の問題点にならないのは、ホームルームの問題点が生徒会の問題点にならないのは、